

ヒルガオ (昼顔)

名前の意味^{いみ}：ヒルガオの意味は、アサガオは朝に花が咲くが、ヒルガオは昼に咲いているから。

分類：双子葉類、ヒルガオ科、ヒルガオ属

(ヒルガオ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：サツマイモ、アサガオ)

好きな場所：日当たりのよい空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：何かにまきついて育つ。楕円形^{だえんけい}の葉、ピンク色のアサガオに似た花。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、丸い

花の時期：6 - 9月

食べ方：食べられない

見分け方：アサガオとは、花が小さいこと、葉に毛がないことで区別できる。コヒルガオとは、葉が長楕円形^{だえんけい}であることから区別できる。コヒルガオの葉は五角形。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)